

# 臨終回巻

# 二ツポン



す「いたしながられい」とあります。このお方と比べたら私の著作なんて微々たるもので。

著作の累計発行部数1億1500万部。浅見光彦シリーズだけでも9700万部。人気作家

九

2015年夏、軽い  
脳梗塞となり入院。そ  
の後、休筆宣言されま  
したが、妻で作家の早  
坂真紀さんと「夫婦短  
歌」というホームページ  
ジ(HP)を立ち上げ  
ました。

# 夫婦愛あふれた最終章



④7 内田康夫

つた」と思ひ出しました。そ  
うだ！ 小説は無理でも、短歌  
だったら書けるかも知れない。  
そう思つたら、気持ちは少し楽  
になりました。勿論、いづれは小  
説を書くつもりです。いつまで  
も浅見光彦を遊ばせておくわけ

抱きしめて  
両手でなくて  
「強く」という昨春の早坂  
さんの歌からは、内田さんの半

「あと一度

にはいきませんからね。それまではカミさんに協力してもらつて、短歌を詠む……」  
病を機に、より濃密な夫婦関係を築かれていったように思えます。

にはいきませんからわ  
ではカミさんに協力し  
て、短歌を詠む……

高齢者は例外は「敗血症」。みなさんも新聞の訃報記事でこの病名をと書き見かけることでしょう。

高齢や病気によつて免疫機能が弱り、感染症をきっかけとしてさまざまな臓器が機能不全に陥る状態を「敗血症」と呼びます。肺炎やがん

二人三脚のリハビリを続ける  
がらも、内田さんはゆっくりと  
人生の最終章を歩まれたようで  
す。報道二七五は花因は「故人

やんの歌からは内田やんの身が麻痺させていたこともうかがえます。

あと一度、一度いいから抱きしめて

にはいきませんからね。それまではカミさんに協力してもらつて、短歌を詠む……」  
病を機に、より濃密な夫婦関係を築かれていったように思えます。

かは、惜しいと云うのです  
短歌によるリハビリが功を奏  
したのでしょう。内田さんの頭  
脳は最期まで明晰であったよう  
です。先のHPには、「亡くなる  
1カ月前の2月15日付で、内田  
さんのこんな短歌が。  
「助手席に妻座らせて下  
り坂 ブレーキ踏み 夢の切  
なく」  
夫婦愛あふれた人生の下り坂  
でした。

しかし、お年頃からに経卵期と思われる方が敗血症を起しあつた場合、どうまで治療をするべきか、尚未明確のまづです。

液や人工呼吸器、血液濾過透析などの全身管理を集中治療室で行うケースが多くあります。

進行すると、血圧低下や呼吸不全、腎不全、肝不全など、さまざまな症状が現れるため、輸